

三枚のお札 3

夜もふけ、しんとしたおばあさんの家のなか、ぶきみな音がひびきます。

シャツ、シャツ。

もの音に気づいて、目をさました小僧が、おばあさんのへやをのぞいてみると、おばあさんがほうちようをといでいます。

そして、おばあさんのへやのすみには、人のほねがごろごろと、ころがっています。おばあさんの「①」にはつのが生え、「②」はぼさぼさで、「③」は耳まで大きくさけています。そして、ぎよろりとした「④」は、ぶきみな色にひかっています。どこからどう見ても、やまんばです。

問——では、おばあさんがほうちようをといでいましたが、おばあさんがほうちようをといでいたのはどうしてですか。

ア 小僧をたべるため。

イ 小僧に、おいしいごちそうを作つてあげるため。

ウ 小僧に、きらきらのほうちようをじまんするため。

「」

「ひいっ！」

思わず声をあげてしまった小僧を、やまんばが、ぎろりとにらみました。

「小僧め、気がついたかよ。」

ほうちようを手に、やまんばがせまってきます。

このままでは、小僧はやまんばに食われてしまいます。

「しよ、しよ、しよんべん。おいら、しよんべんさ行ってえ。」

⑤ 「ばか言うでね。しよんべん行ったふりして、にげる気だろ
う。」

⑥ 「おいらにげないよ。しよんべん、行ってえ。でないと、こ
でもらしちやうよお。」

⑦ 「うるさいがきだねえ。そんなに言うなら、このなわにしば
ってやるから、それから行け。」

問2 ①〜④の「」には、どんなこと

ばが入るでしょうか。

ア 目 イ 口

ウ あたま エ かみの毛

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | 「 | 」 | ② | 「 | 」 |
| ③ | 「 | 」 | ④ | 「 | 」 |

やまんばは、小僧がにげないように、なわでしばって、べんじよに

つれて行きました。

小僧は、べんじよに入ると、おしろうさまからもらったお札を一枚とり出して、はしらにくくりつけました。

⑧「おいらのみがわりに、なってくれ。」

べんじよの外では、やまんばがいらいらしながら、まっています。

「小僧！まだか！」

「もうすぐだ。」

はしらにくくりつけたお札が、小僧のかわりに、そっくりな声でこたえます。

「まだか！」

問3 ⑤と⑨のことは、小僧とやまん

ばが言たものです。小僧を「こ」、

やまんばなら「や」をかきましよう。

⑤ 「 」

⑦ 「 」

⑨ 「 」

⑥ 「 」

⑧ 「 」

「もうすぐだ。」

⑨ 「ええい、もう、まてねえ。」

やまんばが、もっていたなわをひっぱると、べんじよはガラガラとくずれてしまいました。そして、のこったはしらには、

お札ふだがくくりつけてありました。